

『協働のまちづくり懇談会』 会議録

(H24. 2. 10 13:30 ~ 砂川総合福祉センター)

出席者

- ・ 砂川市婦人ボランティアクラブ 16名
- ・ 砂川更生保護女性会 6名
- ・ 市 善岡市長、湯浅総務部長、高橋市民部長、橘社会福祉課長、
中村介護福祉課長
- ・ 事務局 近藤まちづくり協働課長、板垣まちづくり協働係長

1. 開 会

近藤課長

2. 挨 拶

市 長 ~

今日は大変お忙しい中、また、雪が多くお足元の悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

皆様方には、普段からボランティアを通して、砂川市を支えていただいていることに心から感謝を申し上げます。

今日お集まりいただきましたのは、私は昨年の4月27日に第5代目の市長になりましたけれども、なんとか2年間で地域で高齢者を支える仕組みを作っていきたいと考えており、昨年からは町内会連合会、保健師、NPO法人中空知・地域で認知症を支える会などいろいろな方と懇談をしております。

皆様方の意見を聞きながら、砂川での一番良い方式を作っていきたいと考えているところでありまして、今日はボランティア活動をされている皆様方から日頃の問題点や悩みなどいろいろなことがあろうかと思っておりますけれども、それらをざっくばらんに教えていただければと思っております。

それと私が考えている仕組みといいますのは、個人情報保護の関係もごございますので、民間の方だけでは、なかなか機能はしないこともあろうと思ひ、予定は来年の4月からですが、担当の職員を配置して、そこが司令塔となって関係者といろいろ連携を取る形を考えております。

担当職員が民生委員や町内会長、地域包括支援センターなどと連携を取りながら、情報を一元化して、それをまた地域にフィードバックしていくという形を枠組みとして考えております。市の職員が中に入っていないとなかなか機能していかないのではないかと思います。

ボランティアの皆様方は、配食サービス等でいろいろな経験をされていると思いますけれども、私自身がボランティアの皆様方が何をされているのか把握していない部分もございますので、この場でいろいろなお話を聞かせていただければと思っております。

ボランティアが大変だということは、以前、NPO法人中空知・地域で認知症を支える会と懇談した際に、ボランティアを維持したりモチベーションを維持することが一番大変なため、ボランティアだけに頼っては機能しないとのお話も聞いております。今日は、皆様からいろいろなお話を伺い、仕組みづくりの参考としたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○職員紹介

湯浅総務部長より順次自己紹介

○説明

近藤まちづくり協働課長より懇談会開催の趣旨及び資料に基づき協働によるまちづくりについて説明

3. 懇談会

◎懇談のテーマ 「市民との協働によるまちづくりをめざして」

①活動における現状と課題

②ボランティア活動を推進していくために

③高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりについて をテーマに意見拝聴

※ はじめにそれぞれの団体の代表者の方から、団体の概要等についての説明と出席役員の紹介を受ける

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

会長 ～ 皆さん、こんにちは。

今日はこのような機会をつくらせていただきありがとうございます。

婦人ボランティアクラブは、今年で創立42年目になります。組織ですが、すなふグループ、いずみ会、つくしグループ、すずらんグループ、水島グループ、校長会と6つのグループにより構成されており、23年度の会員数は、194名となっております。

普段の活動としましては、月曜日から金曜日までの配食ボランティアを45

名で行っております。また、緑と花の祭典に出店し、お弁当を販売させていただき、リサイクル即売会への協力も行っております。春の緑の羽根街頭募金、秋には赤い羽根街頭募金へ参加しております。また、市の補助をいただき、研修と親睦を深める1泊2日の視察研修と会員の意識向上のための研修会も行っております。年に1度ですが、岩見沢で開催されます空知地区ボランティアセミナー、全道のボランティアが集まり研修・交流をするボランティア愛ランドにも出来るだけ参加をしています。できる範囲のものでしたが、昨年は大震災による支援物資の仕分け作業などもありました。

もう一つ、聞きなれない言葉かもしれませんが、子育てコーチングのボランティアです。これは、子育て中のお母さんの研修会の間、子供を預かり面倒を見るというものですが、研修会は10時から12時まで5回あり、あまり深く考えずに引き受けてしまい、5・6人かと思いきや第1回目に行くとボランティア6人に対して、0歳児から5歳児までの子供が15人おり、泣かれて大変でしたが無事に終わってホッとしております。子供を見るのは大変でしたが、お母さん方の勉強をサポートできて良かったと思っております。

以前は、福寿園（特別養護老人ホーム）での衣服着脱などもありましたが、民営化になってからはこのような作業が全くなくなり、現在、他に何かできることがないか考えているところです。このような形で活動しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【砂川更生保護女性会】

会長 ～ 皆さん、こんにちは。

砂川更生保護女性会は、婦人ボランティアクラブと同じ昭和45年9月26日発足となっております。平成15年までは、砂川更生保護婦人会となっておりますけれども15年から女性会に替わっております。

今現在、会員は148名です。

目的といたしましては、非行や犯罪を予防し、また、犯した人たちの立ち直りを支え、明るい社会を目指して活動をしているボランティアです。

毎月、4役会と役員会を第1水曜日に行っております。10時から4役会、午後から役員会を行っております。役員は全部で12名おります。

事業といたしましては、会員研修会、ミニ集会、街頭啓発活動、視察研修、訪問交流でデイサービスセンターに伺って歌を歌ったりイベントをしております。この他、今年市長さんにも参加をしていただいた新年交礼会を行っております。また、社会教育の事業といたしまして、子どもさんと一緒に行事があれば協力をさせてもらっております。つむぎの家のワイワイ祭りにも協力させてもらっております。

更生保護女性会は、札幌更生保護女性連盟に所属しており、年に5回、理事会があり出席をしております。連盟の行事では、札幌の観察所で研修会が行われ出席をしています。また、AからEまでのブロックがあり、砂川はDブロックに入っており、7市町で構成されています。滝川、赤平、芦別、美

唄、奈井江、浦臼と砂川でブロック研修会をしております。また、地区会長研修会や事務研修もあります。

それと少年院の出院の準備教育といたしまして、昼食会があります。矯正施設の参加協力で発表会もあります。私たちはまだそれらには参加しておりませんが、矯正施設の食事作りに平成 15 年から毎年参加させていただいておりましたが、昨年からは参加を一時停止しております。また再開する予定となっております。

また、平成 24 年 1 月 12 日に千歳にあります北海少年院の成人式に出席させていただきました。

札幌更生保護女性連盟の方は、今年 50 周年を迎え、その上部に北海道地方更生保護女性連盟があり、さらにその上に日本更生保護女性連盟があり、こちらは来年、平成 25 年に 60 周年を迎える予定となっております。

役員をしている皆さんもそれぞれ民生委員をしていたり、婦人ボランティアに入っていたり、個人的にいろいろなところで活動しております。

市長 ～ それでは懇談の方に入りたいと思います。レジュメにはテーマが①から③まで書いてありますけれども、まずは、①と②を併せていろいろご意見をお聞かせいただければと思います。

議会でも、もう少し会員を集めるのに何かのイベントの時に、ボランティア活動をしているグループのテーブルを作って、会員を募集したり、どのようなボランティア活動をしているかを一般の方に知ってもらえばよろしいのではないかという話も出ていたのですが、その辺も含めてお話をいただければと思います。会員も減少傾向にあるというお話も耳にしておりますので。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

会長 ～ 婦人ボランティアクラブというと役所の奥さん方の集まりというイメージを持つ方が多いようで、少し敬遠されているところがあるのかなと感じております。違うボランティアの方に「入ったら抜けられないのでしょ」と聞かれ、「そんなことはないですよ」と答えたのですけれども。

会員の減少については高齢化に伴いどこもそうだと思います。

市長 ～ ボランティアというのは非常に難しいものだとわかっておりますが、実際にやっている方々の意見を聞いてみないとわからない点もあって、やはり入ってしまうとなかなか抜けられないのでしょうか。

一同 ～ そんなことはないです。

【砂川更生保護女性会】

会長 ～ 義理的なところがありまして、あなたが会長をしているからその間だけねと言われたりもしますから、私が辞めた後はそういう方々も辞めてしまうの

かなとも思っております。私は、会長は何十年もやるのではなくて、交代していくとまた新しい会員も増えていくのかなと思っております。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

会 長 ～ ボランティアは、入ると何かしなければいけないというのがあるのかもしれませんが。何もしないと心苦しくて、それなら辞めてしまおうと思われる方も多いようです。そのような話も聞きます。でも更生さんは入っていればよいというようなことを言われてましたので、その辺の違いもあるのかなと思います。

【砂川更生保護女性会】

会 長 ～ 更生保護の方は、婦人ボランティアさんのようにボランティアに取り組むのとは違い、会費要員でいけばよいという方が多いのかもしれませんが。更生保護女性会というものが理解できないという部分があると思うのです。私も入った時は、役所のいずみ会からお願いされただけで、ただ会費を払っていればよいという感じで、全然趣旨もわからなかったものですから。ですけれども今は段々、更生保護とかも表に出ていくようになりましたので、少しは知っていただけているのかなと思っています。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ 古い話になりますけれども、婦人ボランティアと更生保護というのは、昭和45年に同時に設立をして、会員も全て一緒でした。その何年か後に分かれて別々になったのですけれども。昔は砂川婦人会というのがありまして、今は民生委員とかいずみ会とかグループに分かれて、今もすなふというグループはあるのですが、昔は婦人会がありましたから、まちの商店の奥さんなどもたくさん会員になっていただいていたので、そういうところから発足しています。その頃はまちの各団体の方々も入っておりました。昔は災害時の布団づくりや高齢者に靴下や膝掛を編むなどの事業が主でした。社会情勢が変化するのに応じて活動も変わってきました。

砂川婦人会もなくなりましたので、そこでまちの会員の方がぐっと減ってしまいました。それまでは結構、商店街の方々にたくさん入っていただいていた。昔のことを言えばそういう形でやっておりました。

市 長 ～ 現在の主な活動として配食ボランティアがありますが、45名で実施しているということでしたが、ボランティアが重荷になっているということはございませんか。

例えば以前お話を伺った認知症を支える会のぼっけの会（ボランティア団体）であれば、目的がはっきりしていて、意識が高い方が入っていてもモチベーションを維持するのが大変で、会の活動をボランティアに頼りすぎてもボランティア活動には限界がある。ボランティアにも一定の線があり、それ

を超えてボランティアに頼ってしまうと大変だということを懇談の中でお話されてきました。私もそういう難しさはあるのだろうなと感じておりましたので、その辺についてお話をお聞かせいただければと思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 婦人ボランティアクラブに入っている方に限っては、活動に対する不満の声を聞くことはあまりありません。この時期は、雪害とかで配食の時は大変な思いはしますけれども、今年、市長さんもお出席くださいました新年会のように、若い方々がいきいきと楽しく過ごす時間も設けることができましたので、あまり不満とか辛いという声はあの状態で消されるのではないかなと思っています。もちろん楽しみも多少ありますので、このまま続けていけるとなっています。

市長 ～ 新年会は皆さんすごく楽しんでいましたよね。びっくりしました。今年は遅れていきましたけれども、来年は行事が重複しない限り、最初から出席したいと思っています。

会員の減少に伴い、会員を増やす方策というものを話し合うようなことはありますか。募集をしているわけではないようですが、常時自分の知人を誘って入ってもらうということなのですか。

皆さんの意見を聞いてからでないとも私も決断できなかったのですが、イベントの時に婦人ボランティアや更生保護女性会の会員を募集したり、活動の宣伝をしたりする必要性は感じませんか。

【砂川更生保護女性会】

役員 ～ それはそれでよいアイデアだと思います。

私たちは基本的には会費は寄附です。寄附団体だと思っています。ですから、いろいろな意味で広報・宣伝活動ができればよいと思っています。ただ、その場で短時間で内容を知っていただくのは大変かなとは思っています。

市長 ～ 例えば、ゆうで大きなイベントがある時に、ブースを設けて机やのぼりを置いて、活動を紹介したり、会員を募集したりする等の啓蒙活動を行うというのはどうですか。了解をいただけるのであれば検討をしてみたいと思いますが、いかがでしょうか。

【砂川更生保護女性会】

役員一同 ～ 異論はないです。

市長 ～ 婦人ボランティアクラブの方はいかがでしょうか。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 婦人ボランティアクラブは先ほどありましたようにグループ別にありまして、すなふは主として民生委員が多いものでそこで交代に伴って勝手に出入りをしています。特に募集をしなくてもそこで一定数を維持しています。いずみ会も出入りがあります。出ていかれた方々はその上の年代の方々に構成されている、つくしグループに入っていきます。それぞれ大体変わらずに会員を維持しています。新しく入ってくる方というのは大体すなふグループと言って、グループ分け出来ない人達に入っていただくという形をとっています。すなふグループは23名から27名ぐらいを行ったり来たりしていますから、特別の募集をしなくても新年会のように楽しそうなことをしているので、私も入ってみたいというように増える傾向にはございます。ですから、募集はしていただいて結構なのですが、そうするとグループ別ではすなふグループを増やしていくということになると思います。

いずみ会に入っている方は義務的な感じで、婦人ボランティアクラブに所属しているという感覚だと思います。ですから、もう少しPRできれば思っておりますので、私は啓蒙活動はよろしいのではないかと思います。

私たちは、1年間の活動のアンケートを取って、その中にこういうことができますということを項目であげています。その中で会費だけの協力という項目があり、そこにチェックをつけられる方が一番多いです。そのアンケートに回答してくれた方だけを会員としてカウントしています。

市長 ～ わかりました。1度、検討してみます。おそらく、ゆうかどこか人が集まるところでなければ意味がないと思いますので、ゆうの方とも協議しながら考えてみます。我々が勝手にやるというわけにはいかないですので、今日のこの機会に確認をさせていただきました。

テーマの①、②で他に皆さんから何かございますか。

皆さんやる気があって、会員もある程度確保されているというお話を伺いましたので、私が心配しているような状況にはなっていないのかなと思いましたが、ただ、高齢者を支える仕組みの中では、ボランティアさんも配食の役割を通して、組み入れていくことを、私はイメージをしていて、新たにボランティアの方に何かをしてくださいという考えは今のところございません。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 現在、私は配食の担当をしておりますが、若い方にやってもらいたいという気持ちがすごくあります。若い方になるといずみ会が一番で、後の方はある程度年齢が高くなって、冬の間はできないという方がすごく多くなります。私も昨年5月から担当して、前任者もとても苦勞されたと思うのですが、年々ひどくなっていくと思うのです。それで、なるべくいずみ会の方にやっても

らったらいいよという話を他からも聞いて、これからいづみ会の奥様方をお願いをしようと思っています。

実際に2ヵ月分の配食の名簿を作るのですが、何時間もかかっています。人数が全然なくて1人で何回もやったださる方もいます。ボランティアで負担だと言われれば仕方ないですが、せつかく声かけ運動をして、自宅できちんと生活されているかの確認のための配食ボランティアだと思うのですが、参加してくれる方が年々少なくなると意味がなくなると思います。それに替わるものが何かあれば配食でなくてもよいかもかもしれませんが、今のところ私が受け継いだのは、配食で自宅に伺って、お元気ですかと声かけをする。先日、市長さんの奥様が回った時にたまたま倒れられた方がいて救急で運ばれたということもございますし、すごく大事なことだと思っています。ただ、お手伝いをさせていただく方が、少ないというのがとても困っていることです。

10月から4月までの間は本当に人数が少なくて、どうしたらよいのか私も悩んでいるところです。寒くなるので冬の間は大変で、自分もそうなのですが、年齢とともに足腰が段々きつくなりますから。そうなるとうしてもいづみ会に若い方が多いので、お願いしようと思うのですが、皆さん働かれています。2～3ヵ月に1度でよいのでお仕事を休めるのであれば、午前中だけでも休暇をいただいて参加していただけるとありがたいと思っています。

ここに来ていらっしゃる職員の奥様も参加されている方とされていない方がいらっしゃるのですが、参加されている方はずっと参加されていますし、そうじゃない方は働いている方もいらっしゃるのわかるのですが、市の職員の奥様としては、年に1回でも2回でもよいので手伝っていただけるとありがたいので、今日帰られたら奥様によろしくお伝えいただきたいと思います。

前任者がどれだけ苦労されていたのかわかります。自分でやらないとわからないですよ。私も以前働いていたので、あまり参加をしたことがないのですが、1人が1回参加してくれるだけで、いづみ会は人数が多いのですごく助かります。私が今、一番悩んでいるのは、配食のボランティアのことで、それと、頼まれる方も年々減っているの、これに替わるものを考えたほうが良いとも思っています。

高齢者を支えるしくみについて、私の町内会もそうですが、福祉部の担当がありますよね。その福祉部の方がいろいろわかると思うので、そういう方を集めて話をした方がよいと思います。民生委員の方は、一つの町内だけではなくいくつか掛け持っている方もおりますので、町内は一つのところで福祉部をもっていますからそちらを活用するべきだと個人的には思っています。

市長 ～ 私が市長になってから、職員は町内会活動に参加しなさいと言っているのですが、奥さんの方まではなかなか難しいですね。こういう意見がありましたと庁内的にはお知らせできますので、その辺で考えていただければと思います。

私も以前、配食サービスをお手伝いしたことがあるのですが、あの当時はすごい件数があったのですが、今は大分件数が減ってきているとのことでした。

他に何かございますでしょうか。

それでは3点目の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりについて、いろいろご意見をいただければと思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりに該当するかわかりませんが、2月3日に、近くに子どもさんがいない独居高齢者もしくは高齢者夫婦世帯の除雪の調査が民生委員でございました。今お話ししたとおり限定されるのは、近くに子どもさんがいらっしゃらないということだったのですが、今年のように雪が多いときにあまり制約をされると困る方がたくさんいらっしゃるのです。実態調査に回り、絞って絞って私の場合2件だけ社協にお願いをして受理されました。喜びの電話が自宅に届きまして、社協の方にもこれからよろしくお願ひしますと伝えたのですが、今回の除雪は、砂川高校がボランティアで行う1日だけなのです。たった1日だけではなく、状況に応じてもう少し間をおいて、せめて2回か3回に増やしていただければ、もっと喜ばれる方が増えると思います。せめて次年度は2回に増やしてほしいです。

市長 ～ 確約はできないのですが、私が心配しているのは、除雪も排雪も含めて、砂川市の高齢化率が上がっていくにつれて、政策の優先順位が上がってきています。これからもおそらく除雪や排雪という政策の順位付けが高齢化とともに高くなってくると思います。この冬は昨年末に一度排雪を行ったのですが、道路の狭い団地などは状況が厳しすぎてどうしようもなくなってきているため、これから再び行うことにしています。補正を組んで対応しようと考えています。除雪というのは大変お金がかかりますが、高齢化とともにその必要性が段々と高くなってきているため、止むを得ないですね。

今、お話のあった件については、社協の事業でもありますので、私が答えることはできませんけれども、行政の中でも除雪全体のあり方というのは高齢者への対応も含めて、検討をしなければならない事項になってきています。トータルの中で予算の配分をどうするのか考えていかなければならないと思っています。今でも若干の助成制度はありますが、家のごく一部の歩くスペースに限られていますので。これらも含めて高齢化に併せて除雪のあり方という部分は、考えていかなければならないと思っています。あまりにも1人世帯、それも女性の1人世帯の割合が高くなってきておりますので、元気なうちはまだよいですが、できなくなった時にボランティアだけで足りるのかといえば、そこには一つの政策か何かが入ってこなければなかなかカバ

一していけないのではないかと考えています。ただ、ものすごいお金がかかってしまいますので、他の政策を我慢して除雪に持っていくという時が来るのではないかと考えています。

【砂川更生保護女性会】

会 長 ～ 砂川は女性のボランティアさんはいますけれども男性のボランティアというのはあるのでしょうか。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ あるのではないですか。土日の配食をしているのが市民ボランティアで男性ですよ。市役所や消防の方が多いようですけれども。

【砂川更生保護女性会】

会 長 ～ 更生保護にはBBSとって、砂川やこの辺にはないのですけれども、男性の更生保護の会があります。

今まで、更生保護と婦人ボランティアさんとは新年会以外ではあまり交流がないですね。ですから、やはり会長同士で保護司の会長さんも入れて、月に1度でも2ヵ月に1度でも定期的にお話することも必要だと思います。保護司もなかなか手がなくて探しておりますので、こういうよい方がいらっしゃるなどの情報交換もできると思います。そうするとBBSの男性も入れて、いろいろなボランティアに定年になった主人なども入れてできるのかなとも思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ 私は1時間600円の有償ボランティアで、買い物と砂川市立病院への通院、お料理を作りに行っています。皆さん方に言えることは、そういうことがわからないということです。認識がないというか、利用の仕方もわからないし、こういうものがあるということもわからないのです。ですから、市の方でも徹底して教えてもらえたらいいなと思います。

皆さん、遠慮があるようで、介護の認定を受けても支援を受けられないと考えています。支援1でもデイサービス1時間くらいで受けられるはずなのですが、それさえもわからないで私たちのような有料のボランティアを頼んでいます。福祉のことや地域包括支援センターと市との連携がお年寄りにはわからない。それらを徹底して教えたらよいと思います。

市 長 ～ まさに私がやろうとしているのも、地域包括支援センターや市の事業を明確にし、それを体系化して市民にわかるようにしようというのが、もともとの目的です。広報でも周知をしていますが、なかなか見てもらえていない。見てくれないからしょうがないのかといえばそうではなく、やはり行政がきちんと説明すべきだと思っていますが、私の仕組みの中には、元気な方はよ

り元気でいられるように予防も含んでいたり、制度も広報以外の手法で地域の皆さんに教えるようなシステム、情報伝達方式も含んでいますので、その中で言われていたようなことも考えていきたいと思っています。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 歳をとると、自分も年々力がなくなったり、目が薄くなったり、耳も聞きづらくなってきたと最近思うのですけれども、してあげるばかり、してもらえばっきりが幸せではないと思っています。

例えば広報を見ると毎月亡くなる方がたくさんいらっしゃるのですが、亡くなる方も若い時代にはたくさん働いて、いろいろな経験をしているうちに歳をとって亡くなるのだけれども、その前にちょっと意識というか、刺激というか啓蒙をして、持っている財産や才能、エネルギーを砂川に活かしてほしいと思っています。

この間私たちは新年交礼会でいろいろ作業をしたのですけれども、あたかも小さな工場のように皆いきいきと働いていましたが、皆さんすごい才能を持っています。お年寄りと話をする则皆さんすごい才能を持っている方ばかりなのです。何かをしてあげたり、してもらえばかりのお年寄りではなくて、生きるというか、私はこんなことができるというような意識もぜひ啓蒙してもらいたいと思います。

市長 ～ 回答になるかどうかわかりませんが、いろいろなところに出てくる人は、いつまでも元気を保っている。こもってしまうと余計悪くなって、医療費もかかる、介護保険料も増えてくるということがあるので、元気な人はそのまま持続できるような仕組みもなんとか考えていきたい。いっぺんにできなくても段階を踏んでもよいと思っています。

元気な人をさらに元気にしていくことによって、医療費が抑えられたり介護保険料を上げることを防ぐことができる。だから食生活改善推進員さんの力も借りたいし、いきいき推進委員の皆さんの力も借りて、見守りだけではなくて、元気な人はより元気に、外になるべく出ていくようにしたい。

家にこもってしまうと最後は介護のお世話になってしまう。介護の施設をつくれれば皆さんの介護保険料がいっぺんに上がってしまうということもあって、行政の悩みとしては、よく施設をつくってほしいと言われるのですけれども、おそらく将来的には今の100床では足りなくて必要になってくると思いますが、簡単につくってしまうと現役世代の介護保険料が上がるという痛し痒しの部分がありますので、トータルで考えていかなければならない。

なるべく元気な人はいつまでも元気でいられるようにして、最後ちょっと弱くなった時には、はじめに地域介護や家族介護があり、それでも駄目な時はグループホーム、施設介護というような段階をなるべく遅らせることもシステムの中で考えていければと思っています。

【砂川更生保護女性会】

会 長 ～ 更生保護の場合、社会福祉協議会の方とあまり接触することがありません。資料の印刷をお願いするようなことはあってもこのようにお話をするような機会がありません。

こういうお話合いの時に社会福祉協議会の方にも参加してもらった方がよいのではないかと思いますでしょうか。

市 長 ～ 社協の方にお話をしておきます。

おそらく4月以降になります。また、社協の方たちと話しをしなければならぬと思っています。社協がボランティアの窓口になっているということもありますし、トータルの組織を考えているものですから、行政だけで走ってしまうと皆さんが望んでいるものと違うものになってしまう恐れもあるので、いろいろ生の声を聞いて、それを参考にしながらよりベターな仕組みを作り上げていきたいと思っております。社協とも役割分担等について協議をしたいと思っています。

【砂川更生保護女性会】

役 員 ～ 前の話に戻りますが、広報はよく見てなかったのかもしれませんが、有償ボランティアについてよくわかっていないです。みんなも知らないと思うのもっとコマーシャルをした方がよいと思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ 介護保険のサービスを受けられない中途半端な方がいるわけです。例えばご主人がきちんと家事ができて、奥さんが寝たきりという人がいたとすると、そういう方たちは介護保険を受けられないのです。そういう方たちが困って私たちのような有償ボランティアを頼むわけなのです。

【砂川更生保護女性会】

役 員 ～ ふれあいセンターの社交ダンスサークルが、経費削減で中止になるというお話が耳に入ってきました。4月から9月頃まで半年間だけの講習で、1週間に1回なのですが、お年寄りが楽しみにしていて、話を聞いて私の母もがっかりしていたものですから。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ それは経費の削減ではなくて、先生の都合で中止となってフォークダンスに替わったはずですが。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役 員 ～ 民生委員をしています。先ほどの除雪の話になるのですが、1月16日に調査が締切で調べて提出したのですが、今年のようにその後もどんどん雪が降

る場合、高校生の除雪ボランティアの追加は受け付けてくれないのでしょうか。

市長 ～ 質問の内容はわかりますが、社協の事業で中身がちょっとわからないものですから後で確認いたします。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

会長 ～ 今日、午前中に配食ボランティアをしたのですが、26件でした。20件ない時もあるので、減ってきているということでしょうかね。

市長 ～ 制度が変わったということではありませんので、希望者が減ったということではないでしょうか。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 今、お年寄りとは昔と違ってコンビニに行ったら何でも売っていますので、わざわざ薄味の弁当を食べたいと思わないという方もいると思います。メニューが決まっているので飽きるということもあると思います。

【砂川更生保護女性会】

役員 ～ 要望的なものになります。ゆうという立派な施設が建てられて有難いと思っています。イベントもゆうで行う場合と福祉センターで行う場合があると思いますが、福祉センターのトイレですが、洋式のトイレが大変少ない。下のトイレに1つあるのは、故障で使用できなくなっていて、上のトイレも3つの内の1つだけが洋式です。この後、この施設を何年先まで使用するのかわかりませんが、これから先も使用するのであれば、上下きちんと洋式トイレを使用できるようにしていただいたら、3点目の高齢者が安心していきいき暮らせるまちづくりにも繋がっていくのではないかと思います。施設の充実も重要な事ですので、お年寄りが安心して使えるトイレにいただけると大変助かると思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 市立病院のことなのですが、私の知人で奥様が車椅子生活をされている方がいらっしゃって、砂川に通院をされているのですが、一番困ることが駐車場だということなのです。身障者用の駐車場をもっと増やしてほしいという要望がございます。そういうお考えはありますでしょうか。

市長 ～ 病院の東側と入口にあるもので足りない状況だということでしょうか。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ 隣のまちから通院されている方なのですが。

市長 ～ 身障の駐車場の場所がわからないのではないのでしょうか。市外から来た方はわからないのかもしれないですね。将来的にはわかりませんが、今の段階では足りているはずです。現在も設置されていますが、もっと市外から来た方がわかりやすい案内板なり看板の設置について、病院の方と協議してみます。今年、立体駐車場ができるとそのまま通路を渡って来れるようになりますから、解消されると思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

役員 ～ わかりました。そのように伝えます。

司会 ～ 1時30分から始まりました懇談会、皆さんから活発なご意見をたくさんいただくことができました。ありがとうございました。懇談の最後にそれぞれの会の会長さんの方から、本日の懇談会の感想等も含めて一言いただいてこの懇談を締めてまいりたいと思います。

【砂川市婦人ボランティアクラブ】

会長 ～ 今日はありがとうございました。更生保護の皆さん方と意見を交わすことはほとんどないのですけれども、皆さんそれぞれの意見を聞かせていただきまして、これからの参考にさせていただき、またボランティアをしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【砂川更生保護女性会】

会長 ～ 今日は大変ご苦勞様です。私も婦人ボランティアでは配食だけしてきて、あまり協力をしていないと思うのです。今聞いておりましたが、やはり更生保護というのは特別で、札幌での答えを持ってきてこちらで報告したり、参加することは札幌に協力をしてきているので、これからは、婦人ボランティアクラブ会長さんと交わって砂川市のためにいろいろなことを頑張りたいと思います。ありがとうございました。

意見拝聴終了

善岡市長挨拶 ～ 今日はありがとうございました。

いろいろな意見をお聞きしましたけれども、参考になる意見もたくさんありました。なんとか形が見えてきた段階で、そのまま議会にかけるのではなく、再度皆さん方にこのような考えでというのを今年の秋頃くらいまでには、原案を持ってお話しをしたいと考えておりますので、これからもどうかご協力をお願いいたします。今日はありがとうございました。

4. 閉会 (15:00 終了)